

平成31年(ワ)第7311号 損害賠償請求事件

原告 渡邊朋子 ほか2名

被告 小野誠

東京地方裁判所民事第1部合2係 御中

令和元年7月19日

渡邊朋子



肥後信嗣



山下和夫



準備書面2

まず、原告の関係者の説明をする。

・余命プロジェクト

平成24年に、余命氏が共産党やLAZAKの影響下にある弁護士を中心とした司法汚染の現状に危機感を覚え、ブログサイト「余命三年時事日記」を立ち上げた。

平成28年に検察への外患罪第一次告発を行う。その後平成29年4月に弁護士に対する懲戒請求を開始した。

・余命(余命プロジェクトリーダー)

余命氏が平成24年に「余命三年時事日記」を立ち上げたことに始まる。

・メンバー

懲戒請求に応募した者の内、神原元弁護士に和解書を送られ、和解しなければ訴訟を起こすという通知を受け、その防衛のために集まったのが現在の余命プロジェクトのメンバーである。

正当な国民の権利たる弁護士に対する懲戒請求をしたことで、現在300名余のメンバーが数人の弁護士から訴えられている。

・原告

原告は、余命プロジェクトのメンバーのうち、ボランティアで、訴訟に参加しているメンバーである。

被告小野誠について

被告小野誠は、平成30年の1月から4月まで、一般社団法人大和の理事長をしていた。

平成30年2月、当該社団法人に不要な自動車の購入代金を当該社団法人から出させようとしたり、当該社団法人の通帳を個人名で作るなど、会計的に不適切な行動があったため、当時当該社団法人の社外監査役であった余命がそのことを指摘したところ、同年2月16日失踪した。

それ以来余命プロジェクトを逆恨みし、NHKに余命プロジェクト関係者の住所や電話番号などの情報を流し、その結果平成30年10月29日の「クローズアップ現代」でまるでカルト集団のような悪意に満ちた放送をされた。

以来、被告小野誠は余命や余命プロジェクトの関係者に執拗な嫌がらせを続けている。

被告小野誠は毎週のように、youtubeで放送をしている。

(甲1～7号証)はその放送の文字起こしデータである。

また、被告はyomei.jpというサイトを運営しており、そこで、余命プロジェクトのメンバーの裁判の傍聴をし、その記録をサイト(yomei.jp)にアップしている。(甲11号証)

最新では、6月21日から7月11日までの間に17件の裁判の傍聴をしている。

毎日のように裁判所に入りし、傍聴や出廷している余命プロジェクトのメンバーに裁判後もエレベータなどで付きまとい、女性メンバーの中には、被告小野誠に会うのがいやで、傍聴に来られないメンバーまでいて余命プロジェクトとしては、迷惑している。

また、横浜地裁では、余命プロジェクトのメンバーの一名と駐車場で乱闘寸前になり、警備員が出てくるなど、トラブルを起こしている。

小野本人は、裁判の傍聴は、報道のためであり、付きまといではないと言っている。

報道といっても、自ら運営するサイトやyoutubeにデータをアップするだけであり、視聴者も数名からせいぜい数十名に過ぎない。これが果たして報道といえるのだろうか？

被告小野誠は、毎回傍聴し、裁判記録を閲覧し、誰が来ているかなど、個人のプライバシーに属する個人名や悪意のあるニックネームやモンタージュ画像を作り、こちらが訴えている原告の氏名、住所、年齢などをサイトに公開し、個人情報保護法違反を頻繁に行っている。(甲10号証参照)

以下、被告小野誠の youtube の文字起こしからの引用である。これらはすべて小野誠本人の youtube 内での発言である。

甲1号証 P5～7 付きまといによるサイト乗っ取りの告白

「実を言うとですね、(ブログサイト) 乗っ取りに近いことやってみました、はい、ず〜っと監視してました。コメントを削除しまくるんですよ、余命って。自分の都合悪いコメント。実を言うとね、つい、つい、つい、つい2ヶ月前まではアドミンアカウント、持っていました。はい、ブログの。なので、全部のコメントもチェックしてました。で、消しまくってるんで、それも保存した上で、当局に流してます。そういうあくどいことをしてるっていうことも、全部監視されてるんですよ、丸裸ですね。かなりの数、控えてあります。全部、当局に通報してます。どこまでひどいことをしたかって言う履歴は残っていません。追い込まれてる感じですよ。実を言うと、全部ねえサーバーそのものも、消しちゃうこともできたんですよ。できたんけども、泳がせておいて、消すよりはそのまま使わせた方がいいですよ。別に私ぬすんだわけじゃなくて余命がね、去年の11月ぐらいに、ログインできないって言って、泣きついてきたから新たなアドミンアカウントを作った上で、私の方で管理言うかね、チェックというか、してあげたわけですよ。ハッキングしてるのがわかる前に警察の方には通報してますんでね。大丈夫です。口座凍結はね、今まで余命が管理してる口座はすべて通報してあります。で通報後にまた新しく作った口座も通報してますんで」。

甲1号証 P7 脱税者呼ばわりによる名誉毀損

「実を言うと、税務署から、昨年度の消費税申告消費税の課税対象者じゃねえかっってお問い合わせが来たんですよ。で、税務署に私、行きました。「私のところに来たけれど私は今は代表理事でも何でも無くて解任されてて、この裏にいる羽賀ってやつが、脱税してるよ、脱税してる可能性があるから調べてね」って言う話をしています」。

甲2号証 P5～8 理事長を解任され、金品を不正取得未遂

「解任されて銀行、じゃねえや代表印、代表印と銀行印は私のところにある。ところが、通帳とカード、あとは下ろすための暗証番号4桁、これは余命しか

知らないわけですよ。当然、銀行印と代表印これしか持ってないと、下ろしようがないじゃないですか。ゆうちょ銀行の窓口に行ってますね、通帳の再発行依頼をかけました。わたしんところ通帳が、戻ってきたって言うか代表理事がね、本来持つべきものだと思ってたんで、一回取り返したんですよ。そしたらこのあとね、通帳記入ができなくなりました。改めて向こうの方で定款を再提出した上で、通帳取り返したな、と」

甲5号証 P13～15 ストーカー

「今朝ね、ある新聞記者からタレコミが入りまして高島平の余命の自宅。ここにもう彼は何回も行ってのんですけども、行くたびにね、一部くらいにはスポニチが入ってたらしいんですよ。だから昨日は帰ってないなとかね。そんなレベル。時間はよくわかんないんだけど、二日にいっぺんか、毎日か、高島平の自宅に帰っているようだと今朝行ったらですね、スポニチだという、話なんですけど、それがですね数日分たまってると、言うことで、余命はどうとう逃げたと。言うことで、私の方に急なたれ込みが入りました。(中略)ま、新聞社の彼曰く、ピンポンで今まで押したら一応はね、鳴ってたらしいんですよ。そのピンポンが鳴らなくなったから、ブレーカーを落としてるかインターホンの電源を切ってるのか。それをもって居留守を使っているのか。まあいろいろ考えるんですけども。とにかくね、見事な居留守君でしたね、うん」。

甲7号証 P31 住民票不正取得

「個人でね、私たった一個人で、行政書士でも司法書士でもないし、弁護士でもない。そんな資格がないでもねえ、住民票とれるんです。住民票とれるって言ったけどもね、戸籍謄本までとりたいなあ。月曜日、余命・羽賀芳和の住民票もしくはできれば、戸籍謄本をとってきます。イエイ。とれるんです。とれるんです。閲覧じゃなくとれるんです、住民票とれるんです」。

以上

証拠説明書 3

号証	標目	原本/ 写し	作成 年月日	作成者	立証趣旨
甲 1 1	小野誠ホーム ページ 傍聴記録	写し	不知	小野誠	被告小野誠が原告らの裁判を傍 聴し、ホームページで公表して いる